

【様式1】

団体名 南部広域行政組合島尻教育研究所	連絡先 TEL : 098-998-9561 Eメール : info-simaken@nanbukouiki-okinawa.jp
-------------------------------	--

1 実践事項 「学校の喫緊の課題に対応した教職員研修の開催」

2 実践内容

(1) 教育講演会 参加者 310名

○「未来の教室のこれから」GIGAスクール

講師：浅野大介 氏 経済産業省経済産業政策局産業資金課長

日野田直彦 氏 武蔵野大学中・高、武蔵野大学附属千代田高 中高等学校長 千代田国際中学校校長

(2) 短期研修

①小中学校合同研修会「保護者対応研修会」琉球大学教職大学院 教授 白尾裕志 参加者 29名

②校内研修支援・園内研修支援（小学校2校、幼稚園2園）

③『幼児教育短期研修』基礎・充実・発展ステージ（各1回）園長研修会（1回）

④市町村教育委員会連携講座（3回）

	期 日	内 容	主な対象	参加
1	10月13日(金) 15:15～16:45 集合型対面のみ	【内容】乳幼児が体を動かす楽しさを味わう〈わくわく運動遊び〉 ～0歳児から5歳児までの発達段階を踏まえて～ 【講師】沖縄女子短期大学児童教育学科 講師 石垣愛一郎	公私立幼・こ・ 保教諭、保育士	21名
2	11月30日(木) 15:15～16:45 ハイブリッド型	【内容】幼児がかいたり、つくったりすることを楽しむために ～わくわく表現遊び～ 【講師】沖縄女子短期大学児童教育学科 准教授 玉城哲人	公私立幼・こ・ 保教諭、保育士	38名
3	12月5日(火) 15:15～16:45 オンラインのみ	【内容】子どもの困難さに寄り添う保育&わくわくする保育 実践（特別支援教育） 【講師】沖縄女子短期大学児童教育学科 助教 羽地知香	公私立幼・こ・ 保教諭、保育士、 特別支援員等	29名

⑤『小・中学校夏季自主参加講座』（4回）

	期 日	内 容	主な対象	参加
1	8月17日(水) 14:00～16:00 集合型対面のみ	【講座名】評価の困りごとを持ち寄ろう 【内 容】・これからの評価、カリキュラムマネジメント ・主体的に学習に取り組む態度の評価について 【講 師】琉球大学大学院教育学研究科 教授 吉田安規良	中学校教諭 小学校教諭 管理職 教育行政	18名
2	8月22日(火) 13:50～16:00 オンラインのみ	【講座名】資質・能力と主体的・対話的で深い学び 【内 容】・「主体的・対話的で深い学び」とは ・資質・能力を育む学びの姿 【講 師】琉球大学教育学部 准教授 塚原健太	中学校教諭 小学校教諭 管理職 教育行政	16名

(3) 調査研究事業

○調査研究協力園事業 南風原町立津嘉山幼稚園 11月17日(金) 公開保育 参加者 53名 保育研究会 45名

【テーマ】幼児期の発達と学びの連続性を考慮した小学校教育への円滑な接続を図る。

【講師】幼稚園担当指導主事 稲嶺彰子 沖縄女子短期大学 講師 名渡山よし乃

(4) その他

① 幼児教育 「令和5年度 島尻地区保育事例集 ～幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を手がかりに～」の作成
「島尻は一つ」をスローガンに島尻地区内の市町村の垣根を越え、幼児教育実践のよさを学び合い共有するための実践事例集を島尻教育研究所が中心となり作成した。今回とりまとめた53園の73事例を幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿に分類した。また、事例の一つ一つに助言者のアドバイスを加え、さらなる保育の向上に繋がられるようにした。本実践事例集の活用により島尻地区幼児教育の充実を図り、今後の小中連携への基盤（学習・生活）づくりに生かしていく。

② 琉球大学連携事業「おきなわ教員研修高度化フォーラム」を活用し、県内教育研究所（石垣教育研究所、宮古島教育研究所）と連携し長期研究員の資質・向上を図る事業を展開した。3地区（島尻、石垣、宮古島）の長期研究員の研究交流を通して研究員の学びを共有し、お互いの実践力に生かしていく。それぞれが進めている先行研究や研究授業・授業研究会での質疑・応答・指導助言等を通して自己の研究の深化をさせ多面的な見方や考え方で教員の資質向上を図った。（新規）

3 成果

「幼児教育の充実」「保護者対応」「教師の指導力向上」「確かな学力の向上」等に関する学校現場の課題に対応した自主参加型、専門家招聘、Zoomによるオンライン研修やハイブリッド型形態の研修を幅広く行うことができた。これらの事業を通して教育現場における問題解決能力や研究力を高め、島尻地区における教育研究の中核的存在としての役割を果たすことができた。また、琉球大学・沖縄女子短期大学との連携において、専門性のある講師を招き長期研究員の研究を深めることが出来た。さらに研究所が開催した教育講演会・各研修会等について、全体的にとっても良い評価が得られた。

4 課題

学校現場の喫緊の課題である「働き方改革」の研修について企画する必要がある。また、夏季休校期間に行われる短期研修会や参集型研修会への参加者が少ない。学校等との連携により、学校現場で今後求められている魅力のある研修会の企画・実施をする。